

# いわて県連だより



【第64号】 発行日：2024年1月 発行責任者：自由民主党岩手県支部連合会



年頭のごあいさつ

自由民主党

岩手県支部連合会

会長 藤原 崇

新年おめでとうございます。日頃より自民党岩手県連に対するご指導に対しまして、改めて御礼を申し上げます。また、一月一日に発生しました令和六年能登半島地震により亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された多くの皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

昨年は、統一地方選が執行されました。県知事選挙においては、皆様方から多大なお力添えを頂きましたが、所期の目的を達することが出来ませんでした。ご支援を頂きました皆様方にお詫びを申し上げます。しかしその一方で県議会議員選挙においては、公認候補十五名、推薦候補一名の当選を果たすことができ、県議会では同人数ではありませんが第一会派の地位を占めることが出来ました。また、その後の一連の手續を経て県議会場においては連携する他会派と共に、議会の主導権を取ることが出来ました。今後は県議会の場においても、県当局の行政運営について、県民目線で厳しくチェック機能を果たしてまいります。

また地方選後、県連の新四役（幹事長、筆頭副幹事長、総務会長、政調会長）を決定し、それぞれ精力的に業務に取り組んでいただいております。特に、自民党岩手県連の政調への配属人員を増やし、政策面での研鑽を更に積んでいきたいと考えております。また、現在自民党においては一連の政治資金に関する問題で多くの黨員を始めとした皆様方に多大なご心配をお掛けしております。この点について、自民党岩手県連としても心よりお詫びを申し上げます。この点について、我々自民党岩手県連としても、今後の政治改革に対して提言を行い、政治に対する信頼回復への取り組みを進めていきたいと考えております。

昨年の十月末をもって、衆議院議員の任期は折り返しを迎えました。既に我が党においては、1区から3区まで候補予定者が内定をしており、それぞれ精力的に活動しております。県連としても、来るべき衆議院選挙において勝利を収めるべく取り組んでまいりますので、引き続きのご指導ご鞭撻を、どうぞよろしくお願いいたします。

## 【女性局】能登半島地震被災者支援 街頭募金

一月十三日（土）～十四日（日）、本年一月一日に発生した令和六年能登半島地震に関して、広瀬めぐみ参議院議員から提案をいただき、岩手県連女性局も被災経験県として支援を行うため、盛岡市内にて街頭募金活動を実施いたしました。

急遽の街頭活動となったため、今回は盛岡近郊の女性局役員に声をかけ、千葉順子盛岡市議、村木香織滝沢市議が



街頭募金後の女性局役員

応援に駆けつけてくれました。当日は寒い中たくさんの方から、温かいご支援とご協力をいただきました。誠にありがとうございます。

なお、自民党岩手県連では三月三十一日まで能登半島地震被災者支援募金を行っております。今後とも皆さまのご協力を何卒よろしくお願いいたします。

## みんなの横顔③

県議会議員

佐々木宣和さん



宮古下閉伊選挙区選出の佐々木宣和です。三期目の当選をさせていただきました。40歳になりました。宮古下閉伊は13年前の東日本大震災津波、8年前の台風10号災害、5年前の台風19号災害と度重なる自然災害に襲われましたが、多くの方のご支援のもと一歩一歩復旧復興を進めてまいりました。

人口減少のスピードが一段と早くなる中、地域を将来へどう繋ぐか、皆様と共に考え行動してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

